

科目	現代社会	単位数	2	学年	1	学級	全組	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	----	----	--------------

学習の到達目標	現代社会の諸問題を公正に判断する力、人間のあり方生き方を主体的に探求する姿勢、これからの世界を担う公民として必要な社会的能力と国際感覚を身につける。
使用教科書 副教材等	教科書「新現代社会」帝国書院 副教材「現代社会資料集」清水書院（地図帳とデータブックも使用）

学期	月	学習項目	学習内容の説明
1	4	第Ⅰ部 現代社会の諸課題とそのとらえ方	社会科学の入り口として、グローバル問題と世界の潮流について学習する。 ① 地球環境問題 ② 資源・エネルギー問題 ③ 科学技術・生命倫理・高度情報社会
	5	第Ⅱ部 現代社会のしくみと私たちの生き方 第1章 現代の社会生活と自己実現	青年期の課題と生き方を探求する。 ① 青年期の課題 ② よく生きるとは
	6	第2章 現代の民主政治と民主社会の倫理	民主社会と憲法の基本原理を学び、市民的資質を身につける。 ① 民主社会の原理と日本国憲法 ② 日本の政治機構と政治参加
	7 9		
2	10	第3章 現代の経済と国民の福祉	市場・企業活動・金融財政の役割と福祉の増進について考える。 ① 市場経済のしくみ ② 豊かな社会の実現をめざして
	11		
	12		
	1	第4章 現代の国際社会と日本の役割	経済のグローバル化と国際政治の変化を理解し、国際感覚を養う。 ① 国際経済の動向と貧困の解消 ② 国際政治の動向と平和の追求
	2 3	第Ⅲ部 共に生きる社会のために	年間を通じて適宜、課題追求学習のスキルを高める。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業に積極的に参加し、自ら進んでニュースや新聞に親しみ、他者の意見を聞くことも大切にしながら、現代社会で起こる時事問題や人間の生き方について考えてもらいたい。	
	思考・判断・表現	出来事の背景を主体的に考察する力と公正な判断力を身につけるとともに、自分の考えをまとめて、他人に説明したり、他人の説明を聞きとるコミュニケーション力を高めてもらいたい。	
	資料活用の技能	教科書・副教材のほか、新聞・雑誌やインターネットなどを効果的に利用して様々な情報を収集し、資料を活用する方法や分析能力を高めてもらいたい。	
	知識・理解	現状認識や問題解決に必要な政治・憲法・経済・国際関係の基本原理、生き方を考える基礎となる宗教や先人の思想について知り、理解を深めてもらいたい。	
	評価方法	前・後期とも、定期考査の得点を基本とし、出席・課題・発表・授業参加態度などの平常点を加味して評価する。年間を通じての評価は、前・後期の平均を原則とする。	
担当教諭から	現代社会の様々な出来事の実態の姿や人間としての生き方、真理を探るため、社会問題に関心を持ち、社会の基本原理に関する知識と主体的に考える姿勢を身につけてください。 尚、学習項目の順番を入れ替えて授業を行う場合があります。		